

# 株式会社ジェイコム千葉 市川・浦安局

## 放送番組審議会 議事録

【実施概要】 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、従来の会議を取り止め、  
書面協議にて開催

### <放送番組審議会委員>

柏木将宏様	工藤渡様
長峰敏幸様	日暮真司様
増田定男様	松村泰平様
鞠子一之様	(50音順)

事業者側から事業報告並びにコミュニティチャンネルの概要、番組DVDを送付。  
各委員から書面にてご意見等を頂いた。

### 1. コミュニティチャンネル（11ch）編成について

#### ■質問1 J:COMのコミュニティチャンネルについて

良い：3名、やや良い：3名、普通：1名、やや悪い：0人、悪い：0人

#### ▼評価の理由

- ・良い：この1年の状況下での番組編成、制作活動にご苦労も多かったと存じます。
- ・やや普通：毎年少しずつ良くなっていると思う。

#### ■質問2 放送番組について（DVD視聴を通して）

良い：4名、やや良い：2名、普通：1名、やや悪い：0人、悪い：0人

#### ▼評価の理由

- ・やや良い：新型コロナ対処につきご苦労あったと思われます。

#### ■質問3 放送時間について（千葉つながるNews）

良い：5名、やや良い：1名、普通：1名、やや悪い：0人、悪い：0人

#### ▼評価の理由

- 良い：取材など大変と思うが、さらに充実させて欲しい。

■ 質問 4 放送時間について（他番組の放送時間）

良い：3名、やや良い：0名、普通：4名、やや悪い：0人、悪い：0人

■ 質問 5 再放送の回数などについて

良い：3名、やや良い：0名、普通：4名、やや悪い：0人、悪い：0人

2. 各番組に対するご質問

①「千葉つながる News」について

（柏木委員）

- ・この機を利用して情報収集力の強化に努めて欲しい。
- ・市川（本八幡）の取材拠点が習志野に集約された影響は？

（折田チーム長）

・情報収集につきましてはコロナ禍の中、インターネットを使った手法が中心になっています。各行政のホームページや SNS から発信される市民や地元企業の情報を集めデータベース化しています。一方、地域に赴き現場での一期一会の取材活動が制約を受けており、コロナ禍での情報収集方法については工夫が必要と考えます。今後の情報収集強化については、現在行っている手法のほか新たなアイデアを出し検討を進めていきたいと考えます。また、「取材拠点が習志野に集約された影響」につきましては、今までより取材先までの距離が遠くなった分、一つの取材にかかる時間が長くなっていることが影響しております。

（日暮委員）

- ・コロナ禍において、感染対策をとりながら番組が制作されている。

（折田チーム長）

・番組取材に関しましては、スタッフに感染防止対策の周知徹底を行い、社内で決められた「取材ガイドライン」に則り、活動しております。今後も、まん延防止に努め、番組制作してまいります。

（鞠子委員）

- ・地域で活躍しているアーティスト発掘を進めたら良いと思う。

（折田チーム長）

・コロナ禍の中、音楽や演劇・舞台など芸術分野の取材はほとんどできておりません。

一方、路上アーティストを応援する目的で ZOOM を使い取材を行ったコーナーを制作いたしました。頂いたご意見を参考に状況にあった企画の検討を進めたいと考えます。

## ②「ぐるっとプラス」について

(柏木委員)

・制約の多い中での取材・制作になっていると思われますが、平時に戻った時の「ヒント」「ネタ」も見つけて欲しい。

(折田チーム長)

・ご指摘ありがとうございます。コロナ禍そしてコロナ明けに「市川」「浦安」の人たちが必要とする「情報とは何か」を意識し、情報の蓄積に努めたいと考えます。また、視聴者から寄せられる情報も番組制作の「ヒント」として、番組に活かしてまいります。

(長峰委員)

・プレゼンターの 2 人がどこから番組を進行しているのか。バックのセットはもっとシンプルにスタジオから 2 人がつながるイメージでも良いのではないのでしょうか。J:COM 側とお店をつなげる型。洋一郎さんと女性担当の各人のつながりに感じています。

(折田チーム長)

・ご指摘ありがとうございます。コロナ禍の中、ZOOM 収録をメインとして番組を構成しております。MC トークの内容や映像のディテール部分の演出についてさらに追及してまいります。

(鞠子委員)

・そのお店に行きたくなるような情報を多く取り上げたらよいと思う。

(折田チーム長)

・ご指摘ありがとうございます。番組では場所や最寄り駅などの基礎情報のほか、お店のイチオシの商品などキャッチになるテーマを掘り下げてお届けするよう心がけております。今以上にお店が魅力的に映るよう番組構成を深化させていきたいと考えます。

## ③「浦安人図鑑（市川・浦安人図鑑）」について

(増田委員)

・オンラインではなく、対面ができるようになれば、さらに良くなると思う。

(折田チーム長)

・現在は感染拡大をさせないことが最重要との考えから、基本オンライン収録を採用し放送を継続しております。ワクチン接種が進み、国や県の方針が緩和されたのち、社内ルールに従い、早期に対面収録ができるよう、準備いたします。

(日暮委員)

・市川浦安人図鑑としてリニューアルしていただきありがとうございました。  
・オンラインの背景がさみしい。

(折田チーム長)

・昨年ご要望頂きました通り放送エリアを拡大することができました。オンライン収録の背景につきましてはご意見として参考にさせていただきます。

(工藤委員)

・地域、地元愛に満ち満ちた方々の紹介番組。本当に素晴らしいです。人柄も良くわかり、感銘を多々受けています。

(折田チーム長)

・お褒め頂きありがとうございます。引き続き、地域で活躍している方に出演頂き、地元愛を存分に語って頂きたいと考えています。また、MCの吉田照美さんにも市川、浦安エリアへの関心をさらに高めて頂くよう進めてまいります。

#### ④「地域密着特別番組」について

(柏木委員)

・高校入試解答速報番組を「ど・ろーかる」でアプリ配信した点は視聴者のニーズにマッチしている。

(折田チーム長)

・当社では「この街の役に立てているか。J:COM」をキャッチフレーズに様々なサービスを展開しており、「ど・ろーかる」アプリサービスも想いのひとつです。生放送をアプリで配信することによりどこのメディアよりも早く地域の方々にお届けすることができました。お客様の心に響くサービスのひとつであれば幸いです。

(増田委員)

・高校野球は是非続けて欲しい。

(折田チーム長)

・ご意見ありがとうございます。前向きに検討させていただきます。

(長峰委員)

・少年野球大会は複数のカメラを使い取材され、見る側はその映像に大変満足度が高いと思います。オンラインいちかわ市民まつりも新しい試みでとても良いと思います。

(折田チーム長)

・ご感想ありがとうございます。引き続き、主催者のご要望と視聴者のニーズに合わせて番組作りを進めてまいります。

### ⑤「千葉県域スポーツ番組」について

(松村委員)

・取材がうまくできない中、大変だったと思います。県のスポーツ推進室に協力を仰ぐなどが良いと思います。

(折田チーム長)

・アドバイスありがとうございます。既存の情報源はもちろん、ご提案頂きました未開拓の分野からの協力を仰ぎながら番組制作を進められるよう検討してまいります。

(長峰委員)

・県内はスポーツが盛んであり、ロッテやレイソル、千葉ジェッツなど有名チームもあり、ファンにとって楽しい番組になっている。

(折田チーム長)

・地域スポーツはコミュニティチャンネルの編成においても重要な位置づけにあり、今後も力を入れて制作してまいります。引き続き、ご意見やご感想、アドバイスなど直しく願いいたします。

### 3. 自由回答など

(柏木委員)

・J:COM チャンネル（地域密着）、J:COM テレビ（地域活性化）と言う役割、目的の分界は各チャンネルの性格が分かり易くなり、番組の企画・制作に適切と思う。

・ケーブルテレビ各社との広域共同制作は活発に進めて欲しい。

(松村委員)

・市民活動、地域ボランティア等の紹介番組（各代表に活動風景と3分程度録画してもらい、それにスタジオで解説を入れる程度のもの）

(日暮委員)

・コロナ禍に於いて、感染対策をとりながら番組が制作されている。

(長峰委員)

・ゲリラ豪雨などが最近頻繁に発生している中、防災情報を発信するシステムは放送事業者としての役割を十分示されていて素晴らしい。ライブカメラで視覚で状況をつかめるアプリ（ど・ろーかるアプリ）は手軽さがおおいに評価されると思います。

(鞠子委員)

・意見を求めるために参照する番組の時間が短いと思う。

(工藤委員)

・「ステイホーム」でテレビを見る時間も増えてきました。地元のコミュニティチャンネルも拝見する方々が増えました。リモート制作も増え、新しいアイデアも生まれてきたのではないかな。

以 上